

経理・財務部門の皆様が 10年後も価値ある人材で あり続けるために。

CFOラボTMは新しい教育スタイル

みんなで解決!

課題持ち寄り型で、
仲間と一緒に文殊の
知恵で解決!

潜在能力を
引き出す!

経験豊富な
ファシリテーターが、
具体的かつ
実践的に指導!

一部講義のみの
参加も歓迎!

毎回完結型の
クラスだから、
興味あるテーマのみ
参加も可能。

どこでも通用する
本当のプロになる!

他社、他業界の
課題に触れ
一緒に解決することで
視野が広がる!

CFOラボの特徴



「勉強」でない グループスタディ

経理・財務の現場で、さまざま
な局面で直面する課題につ
いて、経験豊かなファシリテ
ーターの指導のもとで解決方法
を学びます。

課題を解決



わかり合える ネットワーク

5、6人のグループスタディだ
から、参加者同士の相互啓発
や課題の共有による仲間づく
りができます。ラボ終了後でも
生かせるネットワークです。

少人数で切磋琢磨



次世代の人財に

社外の人をもつ新しい見方や
考え方と触れ合うことで、広い
視野とスキルを兼ね備えた人
財の育成が可能になります。

世界が広がる

これまでにない経理・財務の道場、それがCFOラボ™。

Fin-techやFinance Automationなど新しいテクノロジーが、次々と登場しています。皆さんが経理・財務部門でこれからも価値ある人材であり続けるには、さまざまな課題を解決するスキルと経験を、自ら身につけていくしかありません。

企業にとってかけがえのない機能である経理・財務部門は、常に効率化や業務品質の向上が求められる分野であり、その改善に終わりはありません。そして、担当者の個人的スキルだけではもはや対応不可能なほど、課題は高度化、複雑化しています。CFOラボは、その複雑多岐にわたる経理・財務部門の課題にするどくメスをいれ、具体的かつ実践的な解決案を導き出すための「道場」なのです。

2025年までに、
全世界で1億人以上の
知的労働者もしくは、
1/3の仕事が
Smart Robotによって
置き換えられる。

(McKinsey Global Institute-Disruptive technologies: Advances that will transform life, business and the global economy. May 2013)

実践テーマ

CFOが担う業務領域における今日的な課題を各回1日完結で実践テーマとして取り上げます。受講者から毎回ニーズをヒアリングしながら、より実践的な課題解決方法が考えられるようテーマを深堀します。

資金管理



お金の流れから経営状況を把握するには？

第1回

第2回

事業戦略



優先順位がつけられない!どの事業に重点投資すべきか？

第3回

第4回

財務戦略



我が社の事業はどれぐらいの価値があるか？

第5回

第6回

ガバナンス



海外子会社の統治はどうすればいいか？

第7回

第8回

経営管理

IFRSなど新制度導入で、管理プロセスを変更しなければ!



第9回

第10回

リスクマネジメント

特に海外の取引が不安。与信管理や不正対策をどうにかせねば…。



第11回

コスト管理

海外の税金や原価が国内のように管理できてなくて不安だ。



第12回

第14回

組織・人材戦略

経理財務部門からイノベーションを起こすには？



第13回

第15回

*各回の担当講師とプログラムについては、次ページをごらんください。

リーダーが身につけるべき「心・技・体」

面白い名前でも、進め方もユニークな研修プログラムができそうだと感じています。皆さんは、仕事の中で課題にぶち当たったとき、どうやって乗り越えていますか？ 私は先輩に懸命に聞き、教えてもらいました。しかしポストが上がるにつれだんだん聞きづらくなってきます。たとえ聞いても中々ピンと答えがでないが増えてきます。

リーダーやCFOになる為に大切な要素に「心・技・体」があります。

「心」— 素直に学ぶ心、タフな心、ぶれない心

「技」— 広く深い専門知識

「体」— 活力、表現力、説得力、プロデュース力

専門知識だけ知っておれば通じ、共感を受けるわけではありません。そうした意味でCFOラボは、共通の課題をもつ外部の人たちと新たなステージで共に学び議論し、大いに恥をかき、心や体も鍛えられる善き道場になることでしょう。研修は何事も自分の熱意と自己自立の思いが基本ですが、新たな将来へのネットワークも広がる絶好の機会になると信じています。講師も1級の人たちにサポートしてもらえます。

どうぞポジティブな気持ちでCFOラボに参加してみたいかがですか。



CFOラボ学長
川上 徹也

一般社団法人日本CFO協会
副理事長
元パナソニック株式会社
代表取締役副社長 CFO

経験豊かな講師陣による実践的プログラム。

| プログラムと日程 (すべて10時~17時) | 講師名 | 経歴 |
|--|---|---|
| 第1回【5月26日(金)】 グローバル企業の資金管理:資金・為替の見える化 | 太田 研一 日本CFO協会主任 研究委員 |  電気メーカー (NEC) で財務30年で海外勤務 13 年。米国の財務手法を日本に移植。2001 年から投資銀行、ベンチャー企業、戦略コンサルティング、MOT 大学院教授を経て、2008 年に株式会社アコーディア・ゴルフの取締役常務執行役員に就任。2010 年に退任し現職。 |
| 第2回【6月16日(金)】 キャッシュフロー経営の業績評価指標:CCCによる事業・財務改革 | 小川 康 インテグラート株式会社 代表取締役社長 |  東京海上火災保険、インテグラート株式会社、Wharton SBDC、プーズ・アンド・カンパニーを経て、インテグラートに復帰、現職。設備投資・R&D 投資・新規事業・M&A 等の事業投資リスクマネジメントに関し、大手企業を中心に 50 社以上のコンサルティング実績をもつ。 |
| 第3回【7月14日(金)】 事業投資の意思決定と実行管理のプロセス・事業投資のリターンを高める取り組み | 手島直樹 国立大学法人 小樽商科大学 ビジネススクール 准教授 |  慶應義塾大学商学部卒業、米ピッツバーグ大学経営大学院 MBA、CFA 協会認定証券アナリスト、日本アナリスト協会検定会員。アクセンチュア、日産自動車財務部及び IR 部を経て、インサイトフィナンシャル株式会社設立。2015年より現職。 |
| 第4回【7月26日(水)】 分析・シミュレーションを活用したM&A投資の評価と意思決定 | 松田千恵子 首都大学東京大学院 社会科学部研究科 経営学専攻 教授 |  日本長期信用銀行にて、国際審査・海外営業等を担当後、ムーディー・ズジャパン格付けアナリストを経て、複数企業でパートナーを務める。企業経営と資本市場にかかわる実務、研究および教育に注力。2011年より現職。 |
| 第5回【8月30日(水)】 事業価値・企業価値の評価ポイントと実務上の留意点 | 櫻田修一 株式会社アカウンティング アドバイザー マネージングディレクター/ 公認会計士 |  1985 年にアーサーアンダーセン入所。経営管理、会計分野を中心とした、経営・業務改革コンサルティングおよび ERP システム導入コンサルティング、プロジェクトマネジメントを手がける。2010 年株式会社アカウンティングアドバイザーを創業メンバーとして設立、現職。 |
| 第6回【9月15日(金)】 投資家とのエンゲージメントを意識した財務管理の強化 | 松居敏哉 三井物産クレジット コンサルティング株式会社 代表取締役社長 |  三井物産に入社し、審査部に配属。以降、国内・海外取引先のリスクマネジメント、カントリリスク情報収集分析を行うなど、一貫してリスクマネジメント業務に携わる。 |
| 第7回【9月27日(水)】 海外子会社への企業統治力強化と経営管理の強化 | 村田守弘 村田守弘会計事務所 代表 公認会計士・税理士 |  慶應義塾大学経済学部卒。70 年アーサー・ヤング東京事務所に入所。99 年アーサー・アンダーセン 税務事務所代表に就任。2006 年村田守弘会計事務所開設。長年にわたり、国際税務、移転価格、事前承認の分野において多国籍企業への税務コンサルティング業務に関与。 |
| 第8回【10月25日(水)】 ポストM&Aを意識したM&Aの注意点 | 小畑哲哉 エヌ・ティ・ティ・ビジネス アソシエ株式会社 代表取締役常務 |  東京大学経済学部卒。昭和 55 年日本電信電話公社入社。平成 23 年 NTT 東日本取締役神奈川支店長就任。平成 28 年現職に就任。中小企業診断士、宅地建物取引主任士、CFP。 |
| 第9回【11月17日(金)】 IFRS導入におけるビジネス・モデルへの影響とプロセスの見直し | 鈴木 基 株式会社レイヤーズ・ コンサルティング SCM事業部統括 マネージングディレクター |  自動車、自動車部品、光学機器、機械設備などの製造業を中心とした上場企業に対して、グローバルコストマネジメント、グローバル SCM 構築、グローバル生産管理などのコンサルティングプロジェクト責任者を多数実施。 |
| 第10回【11月29日(水)】 グループ経営管理情報の見直し | 水野省三 グリー株式会社 執行役員 経営管理本部長 |  パナソニック株式会社にて、国内・海外・製造・流通の現場で20年、本社部門の経理・財務・監査部門で15年間勤務。海外部門 CFO、財務・IR 部門責任者を歴任後、グリーに入社。 |
| 第11回【12月15日(金)】 アジア新興国を中心とした海外与信管理と不適切な取引防止の勘所 | | |
| 第12回【2018年1月26日(金)】 海外税務リスクマネジメントと体制の強化 | | |
| 第13回【2018年2月14日(水)】 シェアードサービスやBPRの活用と組織・人材育成強化 | | |
| 第14回【2018年2月23日(金)】 グローバル競争を勝ち抜くコストマネジメント | | |
| 第15回【2018年3月16日(金)】 経営改善のアクションを起こす経理部門のリーダーシップ | | |

各回担当講師の経歴詳細とプログラムの詳細については、日本CFO協会のウェブサイトにてご紹介しています。ぜひご覧ください。

一般社団法人

日本CFO協会

日本CFO協会は、日本唯一の国際的財務教育機関です。15年以上にわたり、CFO人材の育成、経理・財務スキル向上に取り組んできました。法人会員約200社2,300名、個人会員約2,000名を擁する団体です。

CFOラボ

検索

CFOラボ。それは、新しい教育スタイルの提案です。

教育ご担当の方へ

すべての講座に同じ方が参加されなくても結構です。講座プログラムをご覧になり受講させたい社員を毎回変更されても構いません。出来る限り多くの方が参加されるオープンな道場にしてまいりたいと考えています。

*企業単位で、全講座セットで出席枠を確保されることをお勧めいたします。

自分のキャリアアップを目指す方へ

ご自身の担当業務に近いプログラムをまずは受講されることをお勧めします。ラボを体験いただくことで、同じ目標や課題をもつ他の参加者とのネットワークができ、様々な気づきや知識を得ることができます。

開催概要

日 時： 全15回 ※各講座の開催日は前頁でご確認ください。

10:00 ~ 17:00 (開場9:30)

・全講座上記時間での開催となります。

・各講座選択受講が可能です。 ※受講料は下記をご参照ください。

・全講座昼食をご用意します。 ※昼食代は受講料に含まれています。

会 場： SMBCコンサルティング セミナーホール ※下記をご参照ください。

定 員： 30名

※最低開催人数10名に達しない講座は開催中止となる可能性があります。

参加要領

申込方法 支払方法

- ①開催前営業日15時までに弊社Webサイトでお申込みください。
- ②当日のキャンセルにつきましては、受講料のご返金はいたしかねます。
- ③振込によるお支払いの場合は、開催日前日までに振込みください。(振込手数料は貴社負担でお願いいたします)
- ④本会場においては、録音・録画・写真撮影は固くお断りいたします。

会 場

SMBCコンサルティング セミナーホール (三井住友銀行呉服橋ビル)

東京都中央区八重洲1-3-4 TEL.0120-398-821

受付は30分前より開始いたします。

※会場は変更させていただくことがあります。(変更の場合は事前にご案内いたします)

交通のご案内 J R : 東京駅 八重洲北口より徒歩約5分
日本橋口より徒歩3分
地下鉄 : 日本橋駅 A3出口より徒歩約1分
三越前駅 B3出口より徒歩約5分

※お車でのご来場はご遠慮ください。

電 話 【平日9:00~17:00】 0120-398-821
【夜間、土曜日】 03-5255-5558



※ATMコーナーからはご入場いただけません

受講料 (1名様につき)

| 受講料(1名様につき) | 全講座セット 15日間 | 各1講座 1日のみ |
|------------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 日本CFO協会法人会員 SMBC経営懇話会特別会員 | 540,000円 (含消費税40,000円) | 43,200円 (含消費税3,200円) |
| 日本CFO協会個人会員 SMBC経営懇話会会員 | 594,000円 (含消費税44,000円) | 48,600円 (含消費税3,600円) |
| 上記以外の方 | 648,000円 (含消費税48,000円) | 54,000円 (含消費税4,000円) |

※昼食代を含みます。

※企業でお申込の場合、全ての講座を同じ担当者に参加頂く必要はありません。各講座に合った担当者を選んで参加頂くことをお勧めします。

申込み 問合せ先

(弊社Webサイトでお申込みください。)

一般社団法人

日本CFO協会 www.cfo.jp

セミナー名、開催日、講座、受講料等が予告なく変更になる場合があります。申し込み時点で定員に達している等の理由によりお申込みいただけない場合があります。また、募集状況によりセミナー開催が中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
自然災害などを理由にセミナーを中止する場合は、開催日前日の午後3時までにその旨ホームページに掲載を致します。その場合、受講料は全額返金致しますが、交通費などのキャンセル料につきましてはお客様のご負担でお願い致します。
セミナーの最新情報は弊社ホームページでご確認ください。